

# 農業委員選挙 7月3日に告示

日本共産党から鈴木孝夫<sup>現職</sup>が立候補

農業委員の選挙が、7月3日に告示されます。農業委員会は「農民の利益代表機関」であり「農民の議会」といわれています。委員の大半が農民の選挙で選ばれ、国や自治体に意見を反映させることを大事な仕事にしています。同時に、農地の転用や売買・貸借などにたいする許認可の権限をもつ行政委員会です。



## 平和行進

核兵器廃絶を訴え、全国から広島・長崎へ向けて歩みをつなぐ「国民平和行進」。今年も5月に礼文島を出発したリレー行進は、北海道・東北を縦断し、6月30日に福島から茨城へと引き継がれました。7月1日、福田明、鈴木やす子の両市議らを先頭に、のべ30人余が途中、雨に降られながらも北茨城から日立まで行進しました。



鳥インフルエンザをめぐる共産党の県議団らとともに対県申し入れをおこなう鈴木孝夫農業委員。(右から3人目。6月28日、県庁内)

農業の問題は、食べ物と健康・環境に直結し、それはとりもなおさず消費者の問題でもあります。もちろん農家といえども、消費者としての側面が大きくなっています。自民党の農業つぶし政策がつづくなか、これからの北茨城市の農業を

**鈴木孝夫 略歴** 1957年生まれ(48才)。明德小、磯原中、日立一高を経て、武蔵工業大学(中退)。農業関係の出版社に勤務しながら、東京都立大学(夜間)卒。1985年にUターン。3.5haの水田で無農薬の稲作、平飼い自然卵養鶏などに取り組み、顔の見える産直を広げる。著書に『自然農法の野菜づくり』(農文協)ほか。農業委員5期。市議を務める妻(鈴木やす子)、2男2女、母の7人家族。住所は磯原町木皿(天橋)。

### 市立病院

## 医師給与を17万5000円引上げ

6月23日の市議会最終日、市立総合病院の医師の給与を引き上げる条例が提出・可決されました。現在の医師給与(一ヶ月平均96・4万円)を初任給調整手当として月額17・5万円

健康・環境に直結し、それはとりもなおさず消費者の問題でもあります。もちろん農家といえども、消費者としての側面が大きくなっています。自民党の農業つぶし政策がつづくなか、これからの北茨城市の農業を

6月23日の市議会最終日、市立総合病院の医師の給与を引き上げる条例が提出・可決されました。現在の医師給与(一ヶ月平均96・4万円)を初任給調整手当として月額17・5万円

市立総合病院勤務医師及び県立中央病院勤務医師との給与について、両病院医師の「基本給」、「調整手当」、「初任給調整手当」、「特殊勤務手当」、「医師研究手当」の支給額について比較する。

比較の対象とする医師は、本市病院の科長級医師(9名)の平均経験年数と県立中央病院の同程度の経験年数を有するものとする。

◎市立勤務医師と県立中央勤務医師との比較

H17, 4, 1

区分	北茨城市立総合病院	茨城県立中央病院
年齢	科長級平均 39.4歳	A 医師 39歳
経験年数	" 13.4年	14年
基本給	552,300円	522,900円
調整手当	0円	52,290円
初任給調整手当	0円	253,180円
特勤手当	93,891円	35,000円
研究手当	95,000円	95,000円
年間計	11,567,424円	14,410,901円
1ヶ月平均	963,952円	1,200,908円

1ヶ月平均支給額の差引き 236,956円の格差となっている。

現在の院長の給与、および常勤医師の平均給与はいくらか、他の公立病院の医師と比較してどうなのか、などの点について質問しました。

村田市長は「院長や医師の給与は個人情報なので答えられない。民間の医師に対して市立総合病院の医師の給与は低い」とだけ答弁。

福田議員は「個人情報だからという答弁は認められない。多くの市民が不況であえぎ、市職員や議員も一時金カットまでしている中で、の大幅な給与引上げだ。他の公立病院との比較などを示した資料を提出しなければ判断できない」と強く迫りました。その結果、県立中央病院との比較表が各議員に配布されました。

採決で日本共産党市議団は、市民の暮らしを考えると大幅な引上げは疑問に思うが、今日の公立病院の医師確保の困難性や他の公立病院との比較などを総合的に勘案して賛成し、全会一致で可決されました。